

平成30年度第1回茨城県文化審議会 委員の意見への対応状況

資料4

(敬称略・発言順)

R1年8月1日現在

	委員	意見	対応状況				
			対応済	継続検討	その他	補足意見等	担当課
1	羽原	学校の教育現場に日常的に入り込むようなプログラムも併せて実施するアプローチがあってもよい。	○			近代美術館においては、水戸市内の高等学校と連携し、高校生特派員制度として各校の美術部員が特派員レポートを作成し、情報発信に取り組んでいます。 また、自然博物館では、近隣の小学校と連携し、田植えから収穫・脱穀までを行い、環境学習の支援を行っています。	文化課
2		広報に関して、達成の度合いが期待値より低いとなっているが、KPIの設定が厳しいのか、今後改善していく計画があるのか。		○		達成率について、今後、目標値を達成できるように、担当部署と継続的に情報交換をしながら、効果的な情報発信に取り組んでいく予定です。	プロモーション戦略チーム
3		アークスプロジェクトの地域の教育の部分に関わる事業の具体的な内容を聞きたい。	○			アーティスト・イン・レジデンスプログラム（海外等からアーティストを招聘し、一定期間の滞在・制作活動を実施）中で実施する「オープスタジオ」において、アークスタジオが所在する守谷市の中学生（美術部員）を対象にスタジオツアーを実施しており、スタジオスタッフによるガイドのもと、アーティストとの交流や、彼らの成果作品に触れる機会を提供しています。（H30実施済み、R1実施予定） また、H30には、守谷市の中学生（美術部員）を対象に、水戸芸術館において、現地学芸員等の解説のもとで芸術鑑賞をする（芸術鑑賞バス）ツアーを実施しました。	地域振興課
4		県北芸術村推進事業の地域の教育の部分に関わる事業の具体的な内容を聞きたい。	○			今年度は、招へいアーティスト1名が中学校を拠点に滞在制作やワークショップに取り組むこととしており、アーティストと生徒が様々な形で交流できる機会を提供することで、芸術を愛好する心情を育むとともに、将来の地域づくりの担い手の育成につなげていきます。	県北振興局
5	能島	何にどのくらい使ったのかという予算の用途を示して欲しい。	○			資料1に記載しています。	生活文化課

	委員	意見	対応状況				
			対応済	継続検討	その他	補足意見等	担当課
6	大橋	地元にあるお囃子や神社のお祭りなどを、地元の高齢者が授業で教えに行くなどの取組をしており、それらの広報をしていただきたい。	○			地域で実施されている伝統文化振興の取組みについて、県に情報提供があれば、HP等により県民に向けて情報発信します。	生活文化課
			○			県立学校が実施している文化財継承等の取組については、HPや広報誌等で紹介させて頂いております。 また、市町村立学校の取組については、県と同様に市町村HP等で広報されているが、更に広報が拡充されるよう市町村教育委員会に働きかけていきます。	文化課
7	川井	今後、どこでどのようなプログラムが実施されるのか、それがオリパラや国体とつながっているのか等、縦横の連携が見えるようなものがあるとよい。	○			国体及びオリパラの文化プログラム認証は、開催地や開催国の文化活動を認証するものであり、それぞれのHP等で日程等を公表しています。	生活文化課
8	佐藤	芸術や文化によって何を指すのか大きな目標があってもよい。	○			茨城県文化振興計画において基本目標を ～県民一人ひとりが主役～ 文化が創る・つなぐ 「人と地域が輝く いばらき」と定め、本県が目指す10年後の将来像として 「茨城の心豊かな文化を育み、人と地域が輝く文化芸術大県」としています。	生活文化
9		県内には、芸術家を育成する教育機関（筑波大学、東京藝術大学取手キャンパス等）があるため、そのような人材を活用する取組みがあってもよい。	○			茨城県文化プログラム推進事業「リボン・アートボール2020展」は、企画応募に筑波大学学術系の教授から応募いただき事業化したものであり、運営についても協力を得ております。	生活文化課
10	澤畑	高等学校総合文化祭の期間と県の芸術祭の期間がほぼ同じであることから、高校生が県の芸術祭を鑑賞する、あるいは芸術祭の関係者が高校生の総合文化祭を鑑賞するといった連携があってもよい。		○		県芸術祭と高等学校総合文化祭のチラシを相互の会場に置くなどの対応を検討しています。	生活文化課 文化課

	委員	意見	対応状況				
			対応済	継続検討	その他	補足意見等	担当課
11	鈴木	文化や芸術は数値に現れない部分が多いため、違った観点から評価できるような軸を設定できればよい。		○		<p>県文化振興計画においても、定性的な側面も考慮して評価するとしています。</p> <p>また、文化や芸術に対する県民の関心、情報の到達などについて、ネットモニターアンケートなどを活用した調査の実施を検討します。</p>	生活文化課
12	高橋	海外に目を向けた活動はヨーロッパが多いが、アジア、アフリカ、中南米に関する施策がこれまでであったか。または検討されているか。無ければ、今後、検討していただきたい。	○			<p>これまでは、アジア、アフリカ、中南米から海外技術研修員の受入れをおこなってきたほか、JICA草の根技術協力事業の活用によるアフガニスタン、モンゴル、バングラディシュ等への国際協力を実施してきました。</p> <p>現在も、南米（ブラジル・アルゼンチン）から、県人会子弟を研修生として受け入れているほか、現地に本県の青年を派遣する事業を実施しています。</p>	国際交流課
13	生田目	障害者が県立の水族館や美術館に行ったときに、文化芸術を楽しめる環境づくりをする必要がある。	○			<p>アクアワールドにおいて以下の通り対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○常設で触れる模型等の展示物を設置 ○手話言語通訳者の育成、水槽の解説でQRコードによる手話言語説明データの対応 	生活文化課
			○	○		<p>自然博物館において以下の通り対応しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さわれる展示（ハートフルミュージアム）実施 ○常設展にさわれる展示物等を設置 <ul style="list-style-type: none"> ・第1展示室の隕石 ・第2展示室のタッチボード ・第3展示室のキツネやタヌキの剥製 ・第4展示室の匂いの体験や聞く体験コーナー ・ディスカバリープレイスの3Dプリンタによる模型 ○展示ガイドシステム「ポケット学芸員」導入（H31.3～） 解説文と写真で展示解説、英語版コンテンツも公開 日本語版及び英語版ともに音声データ収録 ○音声ガイダンスシステム導入（H11.11～） <p>県立美術館においても、展示ガイドシステム「ポケット学芸員」の導入を検討します。</p>	文化課

	委員	意見	対応状況				
			対応済	継続検討	その他	補足意見等	担当課
14	生天目	全ての文化施設に無料Wi-Fiの整備をお願いしたい。	○			①アクアワールド大洗水族館：館内は整備済み ②ミュージアムパーク自然博物館：館内は整備済み	生活文化課 文化課
				○		①ザ・ヒロサワ・シティ会館：本館ロビーに整備済み ②近代美術館：エントランスに9月整備予定 ③つくば美術館：エントランスに9月整備予定 ④天心記念五浦美術館：エントランスに9月整備予定 ⑤陶芸美術館：エントランスに9月整備予定 ⑥歴史館：エントランスに9月整備予定	生活文化課 文化課
15	根本	健康経営の対策の一環として、各事業所にも入りこんでいけるような食文化のプロジェクトチームを作りたい。			○	平成30年度より従業員の健康づくりに積極的に取り組む事業所を「いばらき健康経営推進事業所」として認定する制度を実施しております。認定項目に食生活改善を設け、従業員の心と身体の健康づくり対策を支援しています。 また、健康経営の普及・啓発を図る研修会を開催し、今年度は(株)タニタヘルスリンクの管理栄養士を招き、食事に関する講演をお願いしたところです。 今後も、研修会等を通じて事業所の健康経営の取組みを支援していきます。	健康・地域ケア 推進課
16		食生活改善に関わる専門家の手伝いを得て、出前講座も含めて研修の指導をしていきたい。		○		R2年度に向けて検討しています。	生活文化課